学校で基本の学習が出来ていない現状

アップ情報局
2016年
10月19日号
発行：アップステーション教務部

９月２９日に、４月に行われた**「全国学力・学習状況調査」**の結果が公表されました。毎年、４月に小学６年生と中学３年生を対象に行われます。ニュースなどで「○○県の子どもたちが一番勉強が出来る」といったものは、この調査結果をもとにしています。埼玉県はどうなのでしょうか。

埼玉県教育委員会のＨＰに結果が公表されています。左の資料１は調査結果の概要になります。残念ながら、埼玉県は**全国平均より劣っている**結果になっています。しかし、この結果だけを知っても何の意味もありません。全国平均より低いということよりも、**なぜ全国平均よりも低いのか**ということの方が重要です。

『算数・数学Ａ』は知識に関する**基本的な問題**なのですが、正答率が約６０％です。基本的な内容なのですから、もっと正答率が高くてもいいはずです。高くない理由は**「基本的な内容が出来ていない子がたくさんいる」**からです。では、**なぜこのような子が多いのでしょうか。**

学力状況結果は、よくニュースなどで取り上げられるのですが、**学習**状況結果が取り上げられることはなかなかありません。ＨＰ上には、学習状況の結果も公表されています。

学習状況は「生徒への質問」の他に「学校への質問」があります。その結果を見ると、**なぜ埼玉県は全国平均より低いのか**が見えてきます。下の資料２は「学校質問調査」の結果の抜粋です。この質問事項の２と４が**「宿題」**に関するものなのですが、**埼玉県は全国平均と比べて異常に低いのです。**つまり、**ほとんど宿題が出されていない**のです。

質問事項５を見ると、計算問題などの反復（授業中）は全国よりもよく行われていることがわかります。良いことのように思うかもしれませんが、実は違います。本来、計算問題の反復は宿題で行われるものなのです。宿題が出ていない、つまり反復練習をやっていないということは、その分だけ学校の授業でやらなければいけない状況になっているのです。

アップステーションでは、日割りの宿題で、きちんと反復練習を行わせていくようにしています。

平成28年度　全国学力・学習状況調査
埼玉県全体の調査結果概要（目的・概要等）

■調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

■調査の概要

実 施 日　平成２８年４月１９日（火）
調査対象　１　原則として全児童生徒を対象とする。
【小学校調査】　小学校第６学年、特別支援学校小学部第６学年
【中学校調査】　中学校第３学年、特別支援学校中学部第３学年
２　特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
(1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
(2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒
調査事項　１　児童生徒に対する調査
(1) 教科に関する調査
①〈国語Ａ、算数・数学Ａ〉…主として「知識」に関する問題
②〈国語Ｂ、算数・数学Ｂ〉…主として「活用」に関する問題
(2) 質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査
２　学校に対する質問紙調査
学校における指導方法に関する取組等に関する質問紙による調査

■埼玉県の学力調査結果の概要（教科区分ごとの平均正答率）

（単位%）

校種・学年	年度		国語Ａ	国語Ｂ	算数・数学Ａ	算数・数学Ｂ
小学校第６学年	H28	県	71.6	56.7	75.9	46.3
		国	72.9	57.8	77.6	47.2
	H27	県	68.7	64.2	73.1	43.1
		国	70.0	65.4	75.2	45.0
中学校第３学年	H28	県	74.9	65.6	60.3	43.2
		国	75.6	66.5	62.2	44.1
	H27	県	74.9	64.7	63.2	40.4
		国	75.8	65.8	64.4	41.6

＊Ａ問題：主として「知識」に関する問題　＊Ｂ問題：主として「活用」に関する問題

◇用語説明
１　教科区分ごとの平均正答率
それぞれの平均正答数（児童生徒の正答数の平均）を設問数で割った値の百分率
２　領域、問題形式ごとの平均正答率
それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率

（資料１：「埼玉県全体の調査結果」の概要）

■埼玉県の学校質問紙調査から
※質問事項は、小学校116項目、中学校114項目からの抜粋
※「よく行った」の値

（単位　%）

質問事項	年度	小学校		中学校	
		埼玉県の割合	全国の割合	埼玉県の割合	全国の割合
１　児童・生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした	H28	41.7	29.9	30.8	24.4
	H27	37.0	27.2	27.4	20.0
２　国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	H28	88.6	86.5	39.1	53.4
	H27	89.3	86.1	34.2	51.4
３　国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った	H28	40.3	32.6	48.8	40.1
	H27	40.1	32.4	45.9	39.8
４　算数・数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	H28	90.0	87.7	43.4	56.4
	H27	90.2	87.5	41.0	55.2
５　算数・数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った	H28	64.8	58.0	61.8	55.9
	H27	65.1	58.4	63.9	55.9
６　学級やグループで話し合う活動を授業などで行った	H28	58.6	53.6	42.4	39.3
	H27	53.6	47.8	30.7	32.0

（資料２：「学校質問調査から」の結果）